



ネットヨタ三重&からっとくらぶ編集室 presents

部活応援隊が行く!!

木本高等学校・
熊野青藍高等学校
ラグビー部
編

積み重なる思いを受け継ぎ、新チームとして体制を整える

木本高等学校・熊野青藍高等学校

ラグビー部

3年生が最後の試合を終えて、現在は1年生3人、2年生6人、マネージャー2人で活動する木本高校・熊野青藍高校ラグビー部。木本高校は1948年に創部、全国大会出場6回を誇り、OBや関係者は地域でラグビーに親しむ機会を途絶えぬよう努力しています。



Q1 部活の魅力は？

A1 (石田さん) 一人一人が個性的な選手たちで、みんなが真面目で一生懸命努力できるところです。

キャプテン(3年)
石田 虎太郎さん
(いした ことろう)



(古田さん) ラグビーが好きで小1から続けています。みんな仲がいいので、一緒にやっていると楽しい。



Q2 3年生最後の試合を振り返っていかがでしたか？

A2 (石田さん) 怪我で出られなかった子もいるので、フルのメンバーで出場したかったです。(古田さん) やっぱ勝ちたかった。最初の流れはこちらにあったので、そこでトライにつなげていけばと悔いが残ります。

キャプテン(3年)
古田 陸さん
(ふるた りく)



Q3 ラグビーを通して身についたことは？

A3 (石田さん・古田さん) キャプテンとしてまわりを見て視野は広がりました。3年間で挨拶や礼儀は身につけられたかなと思う。

Q4 後輩へのメッセージは？

A4 (石田さん) 秋の花園までには単独で出られるよう、悔いなくがんばってもらえたら。

(古田さん) 仲間を集めて、僕たちができなかった決勝に進み、花園に行く夢を叶えてほしい。

Q5 どんなことを意識して活動されていますか？

A5 (喜田先生) 選手たちが自ら考えて動けるようにしないといけないと感じています。部活動としてスキルだけじゃなく、それぞれの役割を認識し、いろんな考えを身につけてほしい。



顧問 喜田 裕彰先生

Q6 今後の課題とこれからのチームのカチは？

A6 (喜田先生) 部員が10人切ったのははじめてのことです。15人集めないと試合に単独で出られないので、まずはそこですね。ただこれは逆にチャンスでもあり、部員や関わっている人たちが危機感を持って、伝統あるこのラグビー部をどうしていくか考える機会です。前向きな部員がいるのでそれを原動力に純粋にラグビーに熱いチームをつくっていったらと思います。



Q7 部活動で生徒に学んでほしいことは？

A7 (喜田先生) ラグビーを通していろんな角度から考える力をつけ、柔軟に捉えたり、プロセスを意識するようになったりと、さまざまな成長につながっていけばいいと思っています。



二次元コードを読み取るとラグビー部コメントが見られます。



ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!